



来年4月開校 小中一貫校「月舘学園」のすがた

令和2年4月1日

月舘小学校、小手小学校、月舘中学校が集まり、伊達市初の小中一貫教育校 月舘学園 が誕生します。

（正式な校名は 月舘学園小学校、月舘学園中学校）

月舘学園のすがた 1

◆校章◆



校名をアルファベットで明示

国際化社会を担う人づくりを目指していることを伝えています。

百合の花

旧月舘町の花「やまゆり」ふるさとを愛する人間性の豊かさを育み、地域とともに歩む学校を表現しています。

ペン

学ぶ大切さの象徴として、小手小の校章に使用されていました。各小中学校の伝統・文化を引き継ぎ、発展していくことを示しています。

◆制服◆

月舘中学校の制服・運動着を基本としています。



小学生の上着は、男女兼用なので、兄弟姉妹間でのお譲りが可能です。

◆運動着◆



半袖は透けない白地を使用しています。



月館学園のすがた 2

◆月館学園校歌◆

作詞：宇井 孝司 作曲：山本 正治

1)
水面は 煌めく 広瀬川
つねにときめく
明日への想(おも)い

色んな色の心
みんなが それぞれに 見付けて
育て行く

多くの色が 集まると
真白き光りは 生まれ来る

月館学園 それは光り
多様な個性 響き合い
眩い虹が空に立つ

2)
頂き聳える 女神山
さらに越えてく
未来を拓き

豊かな伊達の果実
季節も それぞれに 香りも
様々に
実りに溢れ 包まれて
いつでも故郷 愛おしく

月館学園 そこは未来
多彩な夢を 慈しみ
豊かな未来 生まれ来る

3)
想いにゆらめく みんなの夢
時に移ろい
広がり続き

生命は 森に芽吹き
花々 それぞれに 競いて
咲き誇る
けれども花を つけずとも
眩く青く 生きてゆく

月館学園 ここを森に
多様な緑 育て合い
違いを繋ぎ 育ち合う

歌詞に込められた思い

- ①みんなが違うみんなを認め、尊び合うことができたなら、未来は輝くものになるだろう。
という願いがこめられています。
- ②子ども達の豊かさの源泉と思われる「果実」「川や森」「山などの自然」に関する言葉が使われています。
- ③3校の校歌の歌詞も取り入れています。
水面は煌めく は、月館小の 銀のさざ波
虹が空に立つ は、小手小の 虹立つ沢は
競いて咲き誇る は、月館中の 咲き競う から引用しています。

月館学園のすがた 3

◆施設◆

地域の学びの場として、月館総合支所の施設を相互に活用し合う、新しい形の学校です。

スクールコミュニティ

教育活動支援のために、地域の方々が学校に集まる場所です。

月館総合支所は、子どもたちはもちろん、地域の方も利用しやすい施設に生まれ変わります。

新設 連絡通路

新設
小学一年、二年、三年棟

既設校舎

既設体育館

月館総合支所

スクールコミュニティに登録して、子ども達と触れ合えることが楽しみ。

家庭科室（調理台完備）、演奏会開催可能な音楽室、交流ホール、校舎との連結階である2階には、放課後児童クラブを配置します。



月舘学園のすがた 4

◆伊達市内の児童生徒が通学できます◆

【就学には特例制度を適用】

現在、月舘小学校、小手小学校、月舘中学校の3校に通学している児童生徒はもちろんのこと、「伊達市立学校通学区域外就学許可特例制度」を適用し、市内の他地域からの児童生徒の転入学を積極的に受け入れ、就学の機会を確保します。



月舘学園の教育目標

【 教 育 目 標 】

ふるさとを愛し、未来を拓く、人間性豊かで、
心身ともにたくましい児童生徒の育成

入学式や卒業式は、今まで通り行います。
また、児童生徒が交流を図ることができる
ような学びの場を計画していきます。

◆月舘学園での9年間の「学び」と「育ち」◆

15歳の姿を目指して義務教育9年間にわたる教育目標の下に、
「学び」と「育ち」の系統性や連続性のある教育を実施する学校です。

どんなことをするの？

- ◎小学校の先生が中学校で教えたり、中学校の先生が小学校で教えたりする取組を英語科（外国語の授業）と音楽科で実施していきます。
- ◎小・中学校の交流授業も実施します。
- ◎授業については、小中学校の教員で情報共有します。

小中一貫教育のメリットは？

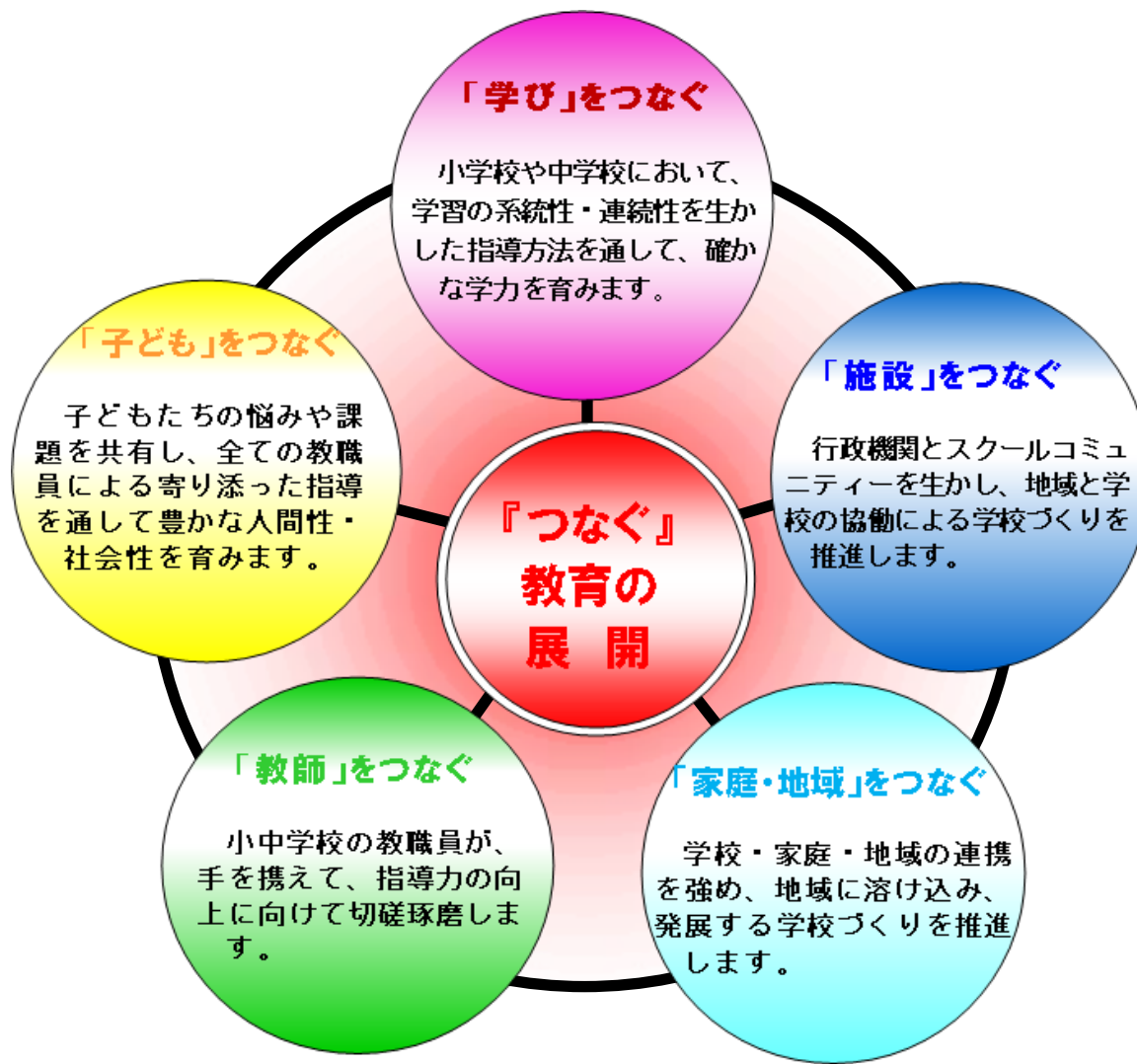
- ◎小・中学校間のスムーズな学習の接続が可能となり、児童生徒への教育効果が高くなります。
- ◎小・中学校の教職員同士の意見や情報交換が密にできます。
中学校進学に対する不安や中1ギャップの緩和を図ることができます。

月舘学園 学校と保護者と地域の目標

子どもの未来をはぐくむ学校

わくわくする学びを促す学校

を学校、保護者、そして地域が一体となってつくり上げていきます。



月舘学園の特色ある教育活動

月舘学園小中一貫教育ならではの特色ある教育活動として、次の3つを掲げています。

「9年間の連続した英語教育」

「学ぶ楽しさを実感するICT教育」

「ふるさと伊達のよさを学ぶ地域教育」

英語教育について、具体的に説明します。

月舘学園の特色ある教育活動



◆ 英語教育 1 ◆

小中9年間を見通した系統的なカリキュラム

学 年	段 階	指導教科
小学1年・2年生	基礎期Ⅰ「ふれる」「知る」	生活科など
小学3年・4年生	基礎期Ⅱ「楽しむ」「興味をもつ」	外国語活動
小学5年・6年生	充実期「親しむ」「理解する」	外国語科
中学1年～3年生	発展期「身につける」「理解を深める」	英語科

月舘学園ならではの特色

- 入学時から英語にふれる（学習指導要領では小1・2年の外国語活動はない）
- 小学校3年生から中学まで、全ての外国語授業にALTが関わることが可能
- 小学校5年・6年生の授業で、中学校の英語科教員も指導する

◆英語教育 2◆

ネイティブイングリッシュに触れる



【朝の時間】

- ・朝の放送で、日本語のあとに英語でアナウンスします。
- ・週2回は、NHK英語アニメ「リトル・チャロ」などの視聴覚教材を視聴

【給食の時間】

- ・ALTや国際交流員と給食を食べながら、英語によるコミュニケーションを楽しみます。

【昼休み：英語ルーム】

- ・ALTや国際交流員と一緒に、英会話で遊んだり、洋楽を鑑賞したりします。
- ・ALTや国際交流員が、英語の絵本の読み聞かせをします。
- ・英語版と日本語版の絵本を整備する予定です。

【国際交流員による英会話教室】

- ・週に何回か、英会話教室を実施します。
- ・その週に見た「リトル・チャロ」の会話を中心とした英会話を、生活場面で使えるよう学びます。



◆ 英語教育 3 ◆

英検対策

- タブレットに英語検定受験ソフトを導入し、英語科の授業時や朝自習などで、活用する予定です。
- A L Tや国際交流員による、英語検定試験に、向けたサポートを実施します。



英語教育以外の特色ある教育活動

◆学ぶ楽しさを実感するICT教育◆

- ・タブレットを1人に1台配置する。
- ・画像、動画、音声を用いたわかりやすい授業を実施する。

◆ふるさと伊達の良さを学ぶ地域教育◆

- ・保原、梁川に続き、月舘にもスクールコミュニティを設置。
- ・地域の方とのふれあいを増やし、地域へ目を向けるきっかけとする。



問い合わせ先

教育部 教育総務課 電話024-573-5852

学校教育課 電話024-573-5632





伊達市

DATE CITY

